

第2回美化推進計画市民検討委員会会議録

日 時	平成21年8月10日(月)午前9時30分～11時50分
会 場	市長公室
出席者 (欠席者)	市:環境課(事務局) 石井環境課長、坂間副課長、岡環境保全係主査 検討委員会委員 出席者 草村委員、清水委員、倉原委員、柳田委員 柳田委員、北澤委員、川上委員 欠席者 柳川委員、羽石委員、岡澤委員
会議次第	別紙のとおり
配布資料	
備考欄	

会議名：美化推進計画市民検討委員会 会議録

1 開 会

環境課長あいさつ（当日配布資料確認、前回会議の確認、柳田新委員の紹介を含む）

2 あいさつ

倉原委員長

3 議 事（倉原委員長議事進行）

（１）計画の基本事項について

事務局から配布資料「富士見市美化推進計画（案）」に基づき、計画の背景と目的、計画の位置付け、計画の期間について説明。それぞれの内容について概ね（案）のとおりで良いかの確認を求めたが、前回の会議で各委員から出された「美化」に関連して出された意見等の項目、アイテムが見えにくいなどの発言が委員からあり、本日の段階では保留となる。

（２）計画の目標

目標については、前回の会議で出された意見や今回課題（宿題）となっているキーワード（短い文章）をまとめ、整理していく作業の中で自ずと見えてくるのではないかということとなり、委員各自キーワードを事務局で用意したカードに書き出し、卓上やホワイトボードを活用しながら、KJ法的な纏め方での作業を進めた。

その結果本日時点での暫定的、仮の目標（タイトル）として次の4項目に集約しました。

「富士見市の美化をみんなで盛り上げよう」（PR、情報発信、啓発イベント）

「環境美化の心を育てよう」（モラル・マナーの向上、環境教育、意識付け）

「きれいな街は市民の手から（市民の手で作ろう）」又は「環境づくりはみんなの力で」（生活環境づくり、不法投棄、集積所、路上喫煙）

「みんなで作るきれいな街」又は「みんなで協力きれいな街」（組織・連携、コミュニケーション）

（各委員がカードに記入したそれぞれのキーワード及び上記の4項目を図示したものが、別紙A3版「富士見市をきれいにするには」です。4項目（4つのグループ、島）についてはあくまでも8月11日時点での仮のタイトルのため、今後の作業の便宜上、空白にしてあります。）

(3) その他

・次回の会議については、8月31日(月)午前9時30分から市役所全員協議会室にて開催する。

4 閉 会

北澤副委員長

以 上

富士見市をきれいにするには

①

PR・情報発信

- 高齢大学(学級)講座で活動のPR
- 富士見市美化だよりを毎月発行地区の回覧板で配布
- ①美化重点区域マップ(特にごみが多いところ)を作成
- ②町会に配布町会の美化委員さん中心に取り組んでもらい、3か月に1回進捗状況や成果の報告会
- ③継続的に広報や美化だよりで紹介
- 看板を出す【この道路は私(企業)が清掃しています】
・できる範囲で
・協力しているPR効果にもなる
- 通勤・通学路の清掃とPRを行う
- 富士見市の美化推進運動をTVで放映(「富士見市=美しい街」というイメージづくり)
- 子どもたちの美化活動も紹介
- 犬のふん看板を立てる

啓発イベント

- 全市一斉にごみゼロ作戦日を設け実施する
- 環境標語の募集をする
- 強化週間等を常に行いアピールする(どんなことでも良いポイ捨てゼロとか)
- 子どもが描いたポスターや標語を、ごみが落とされやすいところに掲示する
- ごみゼロキャンペーン(ごみゼロ週間)
- 美化運動の協賛企業を求めよう(職員を含む)
- 市民クリーン大作戦(○○川をきれいにする会に有名人名参加)
- 老人クラブ・PTAに協力をお願いする
- 富士見市をきれいにする日の制定
・クリーン作戦
・モデル地区(町会)
- 「街をきれいに」のキャンペーン週間を設定する
- 自覚を促す標語をつくる

②

マナー・モラルの向上

- 捨てられているごみを拾う勇氣
- 目の前に落ちているごみは無視せず常に持ち歩くごみ袋に入れる
- ごみの分別はきちんとする
- 外出先で出た自分のごみは持ち帰る
- 排水口は灰皿・ごみ箱ではない
- マナーの向上(犬のふん、他)
- 誰が街をきれいにするのか(一人ひとりが行うこと)
- 自宅の周囲1mの掃除
- きれいな道路は市民の協力に
- 誰かに任せず自分で始末
- ペットのお願いふんの持ち帰り
- ごみのポイ捨て自分が見てる

環境教育

- 学校教育の中に地域美化推進を取り入れる
- 環境美化啓発DVD作成、小学校での積極的な環境教育
- 引渡し訓練のときに通学路のごみを親子で拾って帰る
- 小学生への街をきれいにへの学習
- 育てよう きれいな街と 子どもの心
- 高校生・大学生に協力を呼びかける

意識づけ

- 市民への意識づけをする(方法について)
- やってはいけないことを意識してもらう呼びかけをする
- 捨てないだけでなく拾う心がけも
- きれいな街は市民の意識から
- ポイ捨てや犬のふんに関する罰則規定を法令化(シンガポールのように?)
- 電柱への広告貼付を禁止する

④

組織・連携

- 団体、個人ボランティアの受け入れ窓口を市役所内につくる(担当職員を)
- 各町会に環境部的な組織づくりをする
- 清掃活動をしているボランティアグループ、団体、町会との連携
- NPO各団体と連携情報交換をする
- 問題解決のためのネットワークづくり(誰に言えば解決するか)
- 環境美化レンジャー募集!!
ボランティアの組織化!!
- 各町会、各商店会の美化担当者の組織化

コミュニケーション

- ごみを捨てる人への声かけ(ペットのふん)
- 互いに注意し合える人間関係の構築

③

生活環境づくり

- 街をきれいにする必要性(街をきれいにすることが多くの問題を事前に防げる)
- 空き缶など捨てづらい環境をつくらう
- ごみのないところにはごみは捨てられない
↓
ごみのあるところにごみは集まる
- 明るい街はきれいから
- ごみのない街みんなの誇り
- みんなでつくらうポイ捨てゼロの街

不法投棄

- 粗大ごみは道端に捨てない
- ごみの投棄が多い場所を特定し市民に知らせる
- 不法投棄お知らせシステム
- 待った!ポイ捨て 子どもが見てる

集積所

- ごみ集積所の看板をきれいにする
- 集積所の整備(当番制への推進)(カラス対策)
- 集積所の確保(行政と市民とで)

路上喫煙

- 駅前ロータリーを禁煙区域ゾーンにする(出来れば地面に大きく書く)
- 駅周辺の禁煙区域設定
- 捨てられている物が多いか(タバコの空き箱、吸殻、お菓子の袋、コンビニ弁当のカラ、缶、ペットボトル)
- 電信柱等に簡易灰皿を設置
- 最低限のごみ箱の設置は?
- 喫煙ゾーン(灰皿)・禁煙ゾーンの設置
- 歩きタバコ子どもに危険
- 路上喫煙 市内一斉放送を行う(時間を定める)
- 駅前、駅周辺をきれいにしよう